

「企業は人生道場」

上原会長が警察学校生に講話

二つの企業理念に触れ、新入社員へは財形貯蓄とギャンブル禁止の義務を課し、従業員の家族力強化を進めていると述べた。これまでの人生体験から失敗から学ぶことの重要性や商売の基本「サービス、三方良し」の精神について触れ、県民の奉仕に徹する職業倫理観の養成を聽講生に訓示した。最後に会長は「今からは知恵の時代だ」経験を豊富に積み、知恵を大いに職業に生かして欲しいと期待を述べた。

- ①人の心を玩べば徳を失う、
- ②物を玩べば志を失う、

講話で会長は

沖縄県警察学校（前花廣志校長）は倫理教育・人材育成の一環として、上原義雄沖縄県商工会連合会会長を講師に招き、警察学校研修生（九十八名）に講話を行った。世界的な不況で県内各企業の売上高が軒並み減少したにも関わらず、会長の經營する那覇鋼材は二〇一九年三月期決算で增收増益を出した。



警察学校長室にて（左から前花廣志沖縄県警察学校長、上原義雄沖縄県商工会連合会会長、森田治副校長）

講話中の上原会長

「脱！飲酒運転ワーストワン」

会員1,000事業所に協力依頼

脱！飲酒運転ワーストワンを目指し、本会は沖縄県文化環境部と共同で、8月12日、沖縄産業支援センターにおいて飲酒運転根絶宣言式を行った。宣言式では上原会長が、県が進めている「飲酒運転脱ワースト運動」「飲酒運転根絶宣言活動」に賛同し、市町村商工会を通じて、傘下事業所1,000を目標に飲酒運転根絶運動の経過を報告した。飲酒運転根絶に向け、県民一人ひとりの意識改革、職場の従業員等に「飲酒は犯罪行為」との認識を浸透させる必要性を訴えた。今後、市町村商工会傘下事業所へ、県が作成した「飲酒運転根絶宣言のぼり旗」と「飲酒運転根絶ステッカー」を掲示し広域的アピールの展開を宣言した。知念健次沖縄県文化環境部長からは、県が進める交通安全運動に本会の協力に謝辞を述べ、各事業所に飲酒運転根絶教育と防止の呼びかけに努めた経過を報告、飲酒運転根絶に向け本会活動の期待を述べた。その後、上原文化環境部長から上原会長へ、「飲酒運転根絶のぼり旗」と「宣言書」が交付された。式典の最後に、高里建作沖縄県商工会青年部連合会、玉城光子沖縄県商工会女性部連合会両会長が宣言書を読みあげ、「四ない



知念沖縄県文化環境部長からのぼり旗の交付を受ける上原沖縄県商工会連合会会長



宣言書を読み上げる高里沖縄県商工会青年部連合会会長（左）玉城沖縄県商工会女性部連合会会長（右）

運動・注1」を誓った。沖縄県警察本部によると、交通事故に占める飲酒運転件数構成率は14年連続ワーストワンを記録、昨年と同期と比較しても増加している。

注1「四ない運動とは」

- ・運転するならお酒を飲まない
- ・お酒を飲んだら運転しない
- ・運転する人にお酒をすすめない
- ・お酒を飲んだ人に運転させない